

# 令和6年度11月補正予算案（第7号）について

## 1 概要

高病原性鳥インフルエンザの対策費のほか、早急に対応すべきものについて措置し、総額**6億円**を計上する。

### (1) 補正項目

- |   |        |
|---|--------|
| ① 高病原性鳥インフルエンザ対策  | 400百万円 |
| ・ 新たな発生に備え防疫活動費や風評被害対策費を増額                              |        |
| ② 介護テクノロジー定着支援事業  | 210百万円 |
| ・ 介護現場の業務効率化を加速させるため、事業者の介護ロボットやICT機器等の導入経費を支援する予算を増額   |        |
| ③ 浜田技術センターにおける汚染土壌対応                                    | 18百万円  |
| ・ 耐震化事業に伴う土壌汚染調査の結果、基準値を上回る鉛が検出されたため、汚染土壌が含まれる表層土の撤去を実施 |        |

### (2) 繰越明許費の設定

公共事業などに係る令和6年度から令和7年度への繰越限度額の設定 28,021百万円

### (3) 債務負担行為の設定

公共事業などに係る債務負担行為の設定 11,772百万円  
(追加分10,486百万円、変更分1,286百万円)

- |  |          |
|--|----------|
| ① 債務負担行為を活用した工事施工時期の平準化                                | 1,845百万円 |
| ・ 人材不足が顕著な建設業における安定的な雇用の確保のため令和7年度発注工事を一部前倒して年間工事量を平準化 |          |

- ② 公の施設の指定管理料 7, 5 5 3 百万円  
 ・ 令和6年度末に指定期間が終了する11施設について、新たに指定管理料を設定
- ③ 高病原性鳥インフルエンザ対策（利子補給） 4 0 百万円  
 ・ 経済的損失を受けた養鶏農家が農林漁業セーフティネット資金（日本政策金融公庫）を借り入れた際に利子補給を実施
- ④ 多文化共生推進拠点施設の移転先改修に係る設計費 9 百万円  
 ・ 現施設（委託先：しまね国際センター）の老朽化や、外国人住民からの相談体制の充実を図るため、多文化共生推進拠点施設を移転
- ⑤ 高等学校入学者選拔出願システム整備 1 4 3 百万円  
 ・ 志願者の利便性向上と、教職員の事務負担軽減を図るため、令和8年度（令和7年度実施）公立高等学校入学者選抜からオンラインでの出願を実施するにあたり、出願等の事務を一元管理するシステムを導入

※ 債務負担行為とは、地方公共団体が翌年度以降に債務を負担することについて、その原因となる事項、期間及び限度額を予算の内容として定めておくもの

## 2 令和6年度一般会計歳入歳出予算

1 1月補正後予算額（第6号提案後）	(a)	4, 8 5 8 億円
1 1月補正予算額（第7号）	(b)	6 億円
補正後予算額	(a) + (b)	4, 8 6 4 億円
＊対前年度同期比		9 1. 6 %
【参考】令和5年度1 1月補正後予算額		5, 310 億円

## 3 財 源

(1) 国庫支出金	3 億円
(2) 繰越金	3 億円